追記

・「COBRIS」が「コブリス・プラス」に移行されたことに伴い、本ファイル記載内容及び各種仕様書等については下記のとおり読み替えるものとします。

①建設副産物情報交換システム「COBRIS」、COBRIS
→コブリス・プラス

②建設副産物情報センターHP URL：http://www.recycle.jacic.or.jp/
→コブリス・プラス　URL：https://fkplus.jacic.or.jp/

③「チェックリスト」を出力
→エラーチェックを実施

④建設副産物情報交換システム工事登録証明書
→コブリス・プラス登録済確認書

⑤チェックリスト解説書（平成30年度建設副産物実態調査：COBRIS排出事業者用）
URL：https://www.recycle.jacic.or.jp/osirase/release/H30chk_cobris2.pdf
→コブリス・プラスの使い方　URL: https://fkplus.jacic.or.jp/usage

（別添 2）

建設副産物情報交換システム「COBRIS」の運用について（R5. 1更新）

県土整備部発注工事では、請負者が作成している再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）について、建設副産物情報交換システム「COBRIS」（以下「COBRIS」）を導入し、運用することとしています。

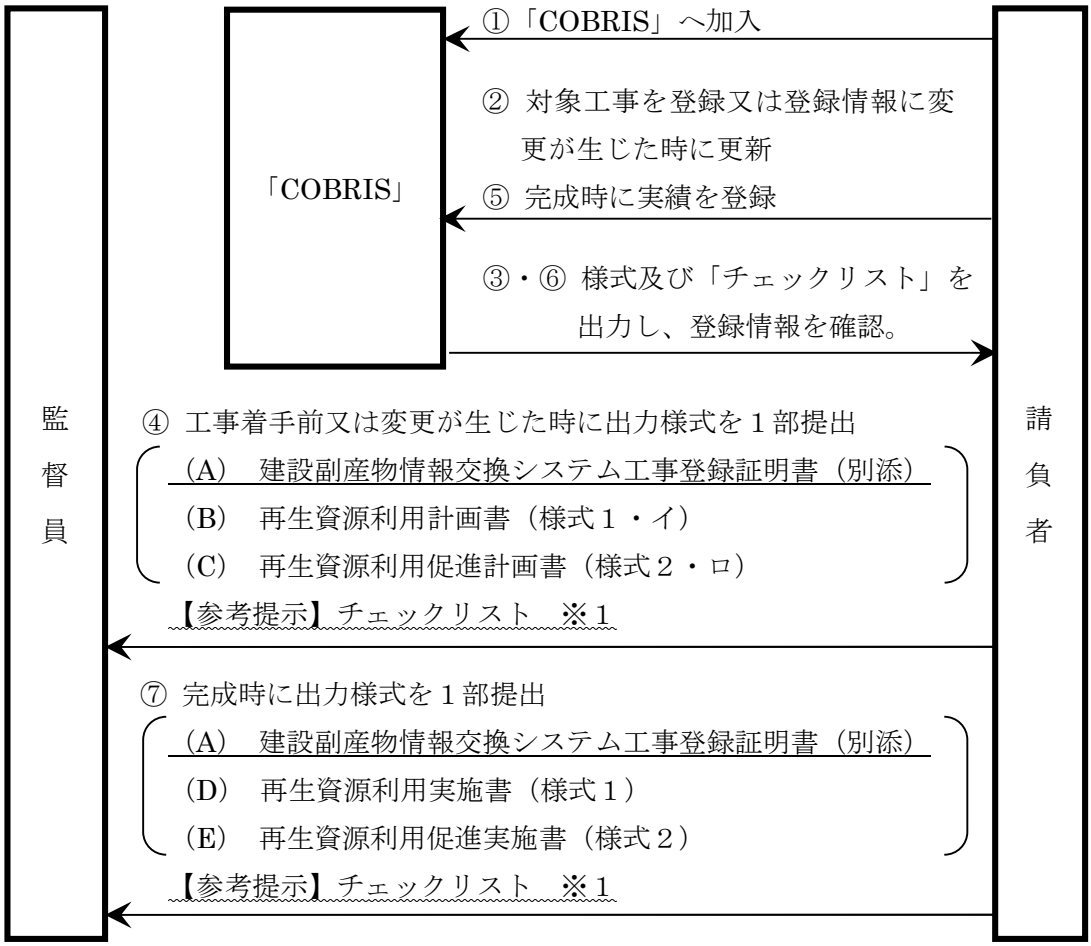
（1） 対象工事

建設リサイクル法対象工事、資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事又はその両方に該当する工事

・建設リサイクル法対象工事：請負代金の額 500 万円以上の特定建設資材を用いた工事
・資源有効利用促進法に定められた一定規模以上の工事

再生資源利用計画書（実施書）	再生資源利用促進計画書（実施書）
次のいずれか１つでも満たす建設資材を搬入する建設工事 １．土砂・・・・・・・・・・・・ 500 ㎥以上 ２．砕石・・・・・・・・・・・・・500ｔ以上 ３．加熱アスファルト混合物・・200ｔ以上	次のいずれか１つでも満たす指定副産物を搬出する建設工事 １．土砂・・・・・・・・・・・・ 500 ㎥以上 ２．コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材 合計 200ｔ以上

（2） 提出方法



① 請負者は、建設副産物情報センターHP より「COBRIS」に加入する。
建設副産物情報センターHP　　URL：http://www.recycle.jacic.or.jp/

② 請負者は、「COBRIS」に対象の工事情報を登録する。また、既に登録している場合に登録情報に変更が生じた時に情報の更新を行う。

③ 請負者は、対象工事を登録又は更新した時に、様式（A）、（B）、（C）及び「チェックリスト」を出力し、登録情報に誤りがないか確認し、疑義が生じた場合は監督員と協議の上、適切に登録する。

④ 請負者は、工事着手前又は登録情報に変更が生じた時に更新した場合、「COBRIS」から出力した次の様式を１部監督員に提出・説明のうえ、現場掲示様式を公衆が見やすい場所に掲示する。この時、請負者は「チェックリスト」を監督員に参考提示する。

（A）　建設副産物情報交換システム工事登録証明書（別添）
（B）　再生資源利用計画書（様式１・イ）
（C）　再生資源利用促進計画書（様式２・ロ）

【参考提示】チェックリスト

監督員は、提出された書類の記載内容を確認する時、請負業者が参考提示したチェックリストを参考に、登録情報に誤りがないか確認する。この時、修正があった場合には必ず、請負者にシステム上での修正と再提出を求めること。
（本システムへの工事情報の登録確認は、（A）の提出により行うものとする。）

⑤ 請負者は、完成時、「COBRIS」に対象工事の実績を登録する。

⑥ 請負者は、実績を登録した時に、様式（A）、（D）、（E）及び「チェックリスト」を出力し、登録情報に誤りがないか確認し、疑義が生じた場合は監督員と協議の上、適切に登録する。

⑦ 請負者は、実績を登録した場合、「COBRIS」から出力した次の様式を１部監督員に提出する。この時、請負者は「チェックリスト」を監督員に参考提示する。

（A）　建設副産物情報交換システム工事登録証明書（別添）
（D）　再生資源利用実施書（様式１）
（E）　再生資源利用促進実施書（様式２）

監督員は、提出された書類の記載内容を確認する時、請負業者が参考提示したチェックリストを参考に、登録情報に誤りがないか確認する。この時、修正があった場合には必ず、請負者にシステム上での修正と再提出を求めること。
（本システムへの工事情報の登録確認は、（A）の提出により行うものとする。）

※１　チェックリストの出力方法及びチェックリストに表示された各項目の解説については、下記の解説書を参照すること。
チェックリスト解説書（平成30年度建設副産物実態調査：COBRIS排出事業者用）
URL：https://www.recycle.jacic.or.jp/osirase/release/H30chk_cobris2.pdf

（３）　「COBRIS」の操作に要する費用は、共通仮設率に含まれる。

（４）　適用年月日

令和５年１月１日以降に当初請負契約を締結する工事

（既契約工事についても、この運用の適用を妨げるものではない）

（５）　「COBRIS」利用申し込み等、システムに関する問合せ先

建設副産物情報センター　　URL：http://www.recycle.jacic.or.jp/

（TEL）03-3505-0410

本運用に関する問合せ先

福岡県　県土整備部　企画課　技術調査室　技術調査班

（TEL）092-643-3644　　（内線）4454

（A）　別添

作 成 日 ：　平成30年03月05日
工事ＩＤ：　4929569

建設業許可番号：国土交通大臣（ 一般）999981

（株）〇△建設　殿

一般財団法人　日本建設情報総合センター



建設副産物情報交換システム工事登録証明書
（計画・実施）

本証明書は、下記の工事が平成30年03月05日現在、建設副産物情報交換システムに登録されていることを証明するものです。

見　記　本

工事概要

調査区分	：計画・実施
発注機関	：福岡県　〇〇事務所
請負会社名	：（株）〇△建設
会社所在地	：福岡県〇〇市〇〇町△丁目〇〇番〇〇号
工　事　名	：〇〇町〇〇号舗装工事
工事場所	：福岡県〇〇市〇〇町
工　　期	：平成30年〇月〇日　　～　　平成30年〇月〇日
請負金額	：20,000,000円（税込）
工事概要等	：工事長Ｌ=〇〇m　路面切削工Ａ=〇〇m2　舗装工Ａ=〇〇m2

建設副産物情報交換システム　工事ID：

(B)　様式１・イ

様式１・イ　再生資源利用計画書　ー建設資材搬入工事用ー

－「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版－

表面

1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄	
		担当者	
		TEL	

法人番号			
請負会社名		請負会社コード*2	
建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 知事 号		
会社所在地		TEL FAX	

記入年月日	R．　年　月　日
工事責任者	
調査票記入者	

工事名		工事種別コード*3	
工事施工場所	都道 府県　市 区 町 村	住所コード*4	
工事概要等		施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等）	

請負金額	千百十　千百十 億万億万万万　1万円未満四捨五入 万円（税込み）
工期	令和　年　月　日から 令和　年　月　日まで

左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

千百一
億万万万万　1万円未満四捨五入
万円（税込み）

再資源化等が完了した年月日

年　月　日

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

建築面積	百十 万万万千百十一 m2	階数	地上　階 地下　階
延床面積	m2		
構造（数字に○をつける）	1. 鉄骨鉄筋コンクリート造　2. 鉄筋コンクリート造　3. 鉄骨造 4. コンクリートブロック造　5. 木造　6. その他		
使途（数字に○をつける）	1. 居住専用　2. 居住産業併用　3. 事務所 4. 店舗　5. 工場、作業所　6. 倉庫 7. 学校　8. 病院診療所　9. その他		

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

2. 建設資材利用計画

建設資材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入してください）						再生資源利用率
分類	小分類コード*5	規格	主な利用用途コード*6	利用量（A）小数点第三位まで	再生資材の名称コード*7	再生資材利用量（B）小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類コード*8	施工条件内容コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード*4	B/A×100
特定建設資材 コンクリート				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
特定建設資材 コンクリート及び鉄から成る建設資材				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
特定建設資材 木材				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
特定建設資材 アスファルト・コンクリート				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
その他の建設資材 土砂				締固めm3		締固めm3						%
				締固めm3		締固めm3						%
		合計		締固めm3		締固めm3						%
その他の建設資材 砕石				m3		m3						%
				m3		m3						%
		合計		m3		m3						%
その他の建設資材 塩化ビニル管・継手				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
その他の建設資材 石膏ボード				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
その他の建設資材 その他の建設資材				トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%

見本

コード*5

コンクリートについて
1. 生コン（バージン骨材）　2. 再生生コン（Co再生骨材H）
3. 再生生コン（Co再生骨材M）　4. 再生生コン（Co再生骨材L）
5. 再生生コン（その他再生材）　6. 鉄筋コンクリート二次製品（パーツ骨材）
7. 無筋コンクリート二次製品（リース品）　8. 再生無筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
9. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）　10. その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（パーツ骨材）　2. 有筋コンクリート二次製品（リース品）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）　4. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）　5. その他

木材について
1. 木材（ボード類を除く）　2. 木質ボード

アスファルト・コンクリートについて
1. 再生密粒度アスコン　2. 再生細粒度アスコン　3. 再生粗粒度アスコン
4. 再生開粒度アスコン　5. 改質アスコン　6. アスファルトモルタル
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8. その他

土砂について
1. 第一種建設発生土　2. 第二種建設発生土　3. 第三種建設発生土　4. 第四種建設発生土
5. 建設土以外の泥土　6. 浚渫土　7. 土質改良土　8. 建設汚泥処理土
9. 再生コンクリート砂　10. 山砂、山土などの新材（採取土、切入土）

砕石について
1. クラッシャーラン　2. 再生粒度調整砕石　3. 鉱さい　4. 再生粗粒砕石
5. ぐり石、割ぐり石、自然石　6. その他

塩化ビニル管・継手について
1. 硬質塩化ビニル管　2. その他

石膏ボードについて
1. 石膏ボード　2. シージング石膏ボード　3. 強化石膏ボード
4. 化粧石膏ボード　5. 石膏ラスボード　6. その他

その他の建設資材について
（利用量の多い上位２品目を具体的に記入して下さい）

コード*6

アスファルト・コンクリートについて
1. 表層　2. 基層
3. 上層路盤　4. 基層
5. その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）

土砂について
1. 道路路体　2. 路床　3. 河川築堤
4. 構造物等の裏込め、埋戻し用
5. 宅地造成用　6. 水面埋立用
7. 法面整備（農地整備）
8. その他

砕石について
1. 路盤の下層路盤材
2. 舗装の上層路盤材
3. 構造物の裏込め、基礎材
4. その他

塩化ビニル管・継手について
1. 水道（配水）用　2. 下水道用　3. ガス用
4. 農業用　5. 設備用　6. その他

石膏ボードについて
1. 壁　2. 天井　3. その他

その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7

コンクリートについて
1. 再生生コン（Co再生骨材H）　2. 再生生コン（Co再生骨材M）
3. 再生生コン（Co再生骨材L）　4. 再生生コン（その他再生材）
5. 鉄筋コンクリート二次製品（リース品）　6. 再生無筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
7. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）　8. その他

コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（リース品）
2. 再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）　4. その他

木材について
1. 再生木材（ボード類を除く）　2. 再生木質ボード

アスファルト・コンクリートについて
1. 再生粗粒度アスコン　2. 再生密粒度アスコン
3. 再生細粒度アスコン　4. 再生開粒度アスコン
5. 再生改質アスコン　6. 再生アスファルトモルタル
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8. その他

土砂について
1. 第一種建設発生土　2. 第二種建設発生土　3. 第三種建設発生土
4. 第四種建設発生土　5. 建設土以外の泥土　6. 浚渫土
7. 土質改良土　8. 建設汚泥処理土　9. 再生コンクリート砂

砂利について
1. 再生クラッシャーラン　2. 再生粒度調整砕石　3. 鉱さい　4. その他

塩化ビニル管・継手について
1. 再生硬質塩化ビニル管　2. その他

その他の建設資材について
（利用量の多い上位２品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8

再生資材の供給元について
1. 現場内利用
2. 他の工事現場（内陸）
3. 他の工事現場（海面）
4. 再資源化施設
5. 土砂ストックヤード
6. その他

コード*9

施工条件について
1. 再生材の利用の指示あり
2. 再生材の利用の指示なし

様式２・ロ　再生資源利用促進計画書　ー建設副産物搬出工事用ー

1. 工事概要　　表面（様式１）に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	場外搬出時の性状	①発生量 (据削等) ②+③+④ 小数点第一位まで	現場内利用・減量 現場内利用 用途 コード※10	②利用量 小数点第一位まで	うち改良土等 小数点第一位まで	減量化 減量化コード※11	③減量化量 小数点第一位まで	現場外搬出について 搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を添えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード※12	搬出先場所住所	住所コード ※4	輸送距離 千 百 十 km	搬出先の種類コード ※13	④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源利用促進量	再生資源利用促進率 ②+③-⑤ ①	⑤ ①
建設資材廃棄物	コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間						トン	トン			
								搬出先2	公共 民間						トン	トン	トン		%
	混合廃棄物A（ガラ・コンクリート・金属くず・木くず・プラスチック・紙くず・繊維くず・石膏ボード・廃石膏ボード・ビニール管・ビニール管継手・発泡スチロール・その他分別された廃棄物）	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間						トン	トン			
								搬出先2	公共 民間						トン	トン	トン		%
建設廃棄物	その他がれき類	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	混合廃棄物B（ガラ・コンクリート・金属くず・木くず・プラスチック・紙くず・繊維くず・石膏ボード・廃石膏ボード・ビニール管・ビニール管継手・発泡スチロール・その他分別された廃棄物）	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	建設汚泥	トン		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間						トン	トン			
								搬出先2	公共 民間						トン	トン	トン		%
	金属くず	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	廃塩ビ管・継手	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	廃石膏ボード	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	紙くず	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	木くず（伐採木を除く）	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	その他の分別された廃棄物	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
	混合廃棄物（特定有害廃棄物）	トン						搬出先1	公共 民間						トン				
								搬出先2	公共 民間						トン		トン		%
建設発生土	第一種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間						地山m³	地山m³			
								搬出先2	公共 民間						地山m³	地山m³	地山m³		%
	第二種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間						地山m³	地山m³			
								搬出先2	公共 民間						地山m³	地山m³	地山m³		%
	第三種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間						地山m³	地山m³			
								搬出先2	公共 民間						地山m³	地山m³	地山m³		%
	第四種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間						地山m³	地山m³			
								搬出先2	公共 民間						地山m³	地山m³	地山m³		%
	泥土状の建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間						地山m³	地山m³			
								搬出先2	公共 民間						地山m³	地山m³	地山m³		%
	混泥土（建設汚泥除く）	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間						地山m³	地山m³			
								搬出先2	公共 民間						地山m³	地山m³	地山m³		%
	合計	地山m³		地山m³	地山m³										地山m³	地山m³	地山m³		%

見本

コード※10
1. 路盤材　2. 裏込材
3. 埋戻し材
4. その他

コード※11
1. 焼却　2. 脱水
3. 天日乾燥
4. その他

コード※12
施工条件について
1. A指定処分
（発注時に指定されたもの）
2. B指定処分（もしくは準特定処分）
（発注時には指定されていないが、発注後に数量変更し指定処分とされたもの）
3. 自由処分

コード※13

【建設廃棄物の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場
3. 広域認定制度による処理
4. 中間処理施設（アスファルト合材プラント）
5. 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）
6. 中間処理施設（リ・マルリサイクル）
7. 中間処理施設（単純焼却）
8. 原単位管理対象分場（指定処分場）
9. 原単位管理対象分場（内陸処分場）

【建設発生土の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場（内陸）
3. 他の工事現場（海面）
ただし、廃棄物管理対象分場を除く
4. 土質改良プラント
5. 工事予定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がある場合）
6. 二重予定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がない場合）
7. 採石場・砂利採取跡地等埋戻事業
8. 廃棄物管理対象分場（覆土としての受入）
9. 海洋投棄処分場（覆土以外の受入）
10. 土捨場・残土処分場

※ 8. 9. 10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記）
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

様式１　**再生資源利用実施書 －建設資材搬入工事用－** －「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H30建設副産物実態調査」対応版－ (D)　様式１

表面

1. 工事概要

発注機関名	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄	
		担当者	
		TEL	

法人番号			
請負会社名		請負会社コード*2	
建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 知事	号	
会社所在地		TEL FAX	

記入年月日	R．　年　月　日
工事責任者	
調査票記入者	

工事名		工事種別コード*3	
工事施工場所	都道 府県　市 区 町 村	住所コード*4	
工事概要等		施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等）	

請負金額	千百十億百十万百十万百十一万円未満四捨五入 万円（税込み）
工期	令和　年　月　日から
	令和　年　月　日まで

左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用
千百十億百十万百十一万円未満四捨五入 万円（税込み）

再資源化等が完了した年月日
年　月　日

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

建築面積	百十万万千百十一 m2	階数	地上　階 地下　階
延床面積	m2		
構造（数字に○をつける）	1. 鉄骨鉄筋コンクリート造 2. 鉄筋コンクリート造 3. 鉄骨造 4. コンクリートブロック造 5. 木造 6. その他		
使途（数字に○をつける）	1. 居住専用 2. 居住産業併用 3. 事務所 4. 店舗 5. 工場、作業所 6. 倉庫 7. 学校 8. 病院診療所 9. その他		

※解体工事については、建築面積を御記入いただかなくても結構です。

2. 建設資材利用実施

建設資材（新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入してください）					再生資源利用率
分類	小分類コード*5	規格	主な利用用途コード*6	利用量（A）小数点第三位まで	再生資材の名称コード*7	再生資材利用量（B）小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類コード*8	施工条件内容コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード*4	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
	木材			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
	アスファルト・コンクリート			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
その他の建設資材	土砂			締め m3		締め m3						%
				締め m3		締め m3						%
		合計		締め m3		締め m3						%
	砕石			m3		m3						%
				m3		m3						%
		合計		m3		m3						%
	塩化ビニル管・継手			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
	石膏ボード			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%
	その他の建設資材			トン		トン						%
				トン		トン						%
		合計		トン		トン						%

見　本

現場内利用、他工事からの流用分もここに記入する

コード*5
コンクリートについて
1. 生コン（バージン骨材）　2. 再生生コン（Co再生骨材H）
3. 再生生コン（Co再生骨材M）　4. 再生生コン（Co再生骨材L）
5. 再生生コン（その他再生材）　6. 鉄筋コンクリート二次製品（パーツ骨材）
7. 無筋コンクリート二次製品（リース品）　8. 再生無筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
9. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）　10. その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（パーツ骨材）　2. 有筋コンクリート二次製品（リース品）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）　4. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）　5. その他
木材について
1. 木材（ボード類を除く）　2. 木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1. 再生密粒度アスコン　2. 再生細粒度アスコン　3. 再生粗粒度アスコン
4. 再生開粒度アスコン　5. 改質アスコン　6. アスファルトモルタル
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8. その他
土砂について
1. 第一種建設発生土　2. 第二種建設発生土　3. 第三種建設発生土　4. 第四種建設発生土
5. 建設土以外の泥土　6. 浚渫土　7. 土質改良土　8. 建設汚泥処理土
9. 再生コンクリート砂　10. 山砂、山土などの新材（採取土、切入土）
砕石について
1. クラッシャーラン　2. 再生粒度調砕石　3. 鉱さい　4. 再生粗粒砕石
5. ぐり石、割ぐり石、自然石　6. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 硬質塩化ビニル管　2. その他
石膏ボードについて
1. 石膏ボード　2. シージング石膏ボード　3. 強化石膏ボード
4. 化粧石膏ボード　5. 石膏ラスボード　6. その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位２品目を具体的に記入して下さい）

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1. 敷厚　2. 基層
3. 上層路盤　4. 基層
5. その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1. 道路路体　2. 路床　3. 河川築堤
4. 構造物等の裏込め、埋戻し用
5. 宅地造成用　6. 水面埋立用
7. 法面整備（緑地整備）
8. その他
砕石について
1. 路盤の下層路盤材
2. 舗装の上層路盤材
3. 構造物の裏込め、基礎材
4. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 水道（配水）用　2. 下水道用　3. ガス用
4. 農業用　5. 設備用　6. その他
石膏ボードについて
1. 壁　2. 天井　3. その他
その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7
コンクリートについて
1. 再生生コン（Co再生骨材H）　2. 再生生コン（Co再生骨材M）
3. 再生生コン（Co再生骨材L）　4. 再生生コン（その他再生材）
5. 鉄筋コンクリート二次製品（リース品）　6. 再生無筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
7. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）　8. その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（リース品）
2. 再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）　4. その他
木材について
1. 再生木材（ボード類を除く）　2. 再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1. 再生細粒度アスコン　2. 再生密粒度アスコン
3. 再生粗粒度アスコン　4. 再生開粒度アスコン
5. 再生改質アスコン　6. 再生アスファルトモルタル
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8. その他
土砂について
1. 第一種建設発生土　2. 第二種建設発生土　3. 第三種建設発生土
4. 第四種建設発生土　5. 建設土以外の泥土　6. 浚渫土
7. 土質改良土　8. 建設汚泥処理土　9. 再生コンクリート砂
砂について
1. 再生クラッシャーラン　2. 再生粒度調砕石　3. 鉱さい　4. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 再生硬質塩化ビニル管　2. その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位２品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8
再資材の供給元について
1. 現場内利用
2. 他の工事現場（内陸）
3. 他の工事現場（港湾）
4. 再資源化施設
5. 土砂ストックヤード
6. その他

コード*9
施工条件について
1. 再ヒ材の利用の指示あり
2. 再ヒ材の利用の指示なし

(E)　様式２

様式２　再生資源利用促進実施書　－建設副産物搬出工事用－

1. 工事概要　表面（様式１）に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出実施

建設副産物の種類 / 場外搬出時の性状	①発生量（掘削等）コ②+③+④ 小数点以下切捨て	現場内利用・減量 現場内利用 用途コード※10	②利用量 小数点以下切捨て	うち現場内減量分 小数点以下切捨て	減量化 減量法コード※11	③減量化量 小数点以下切捨て	現場外搬出について 搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を変えて下さい。	区分 どちらかに○を付けて下さい	施工条件の内容 コード※12	搬出先場所住所	住所コード ※4	実搬出距離 千 百 十 km	搬出先の種類コード ※13	④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源利用促進量	再生資源利用促進率 ②+③-⑤ / ① (%)
資材時廃棄物 コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン	トン		
							搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
資材時廃棄物 混合発生木材A（ミックスウェイスト・建設現場から発生）	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
資材時廃棄物 アスファルト・コンクリート塊	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン	トン		
							搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
建設廃棄物 その他がれき類	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 混合発生木材B（ミックスウェイスト・建設現場から発生）	トン		トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 建設汚泥	トン		トン	トン		トン	搬出先1	公共 民間				km		トン	トン		
							搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
建設廃棄物 金属くず	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 塩化ビニル管・継手	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 廃プラスチック（発泡スチロール、塩化ビニル管・継手を除く）	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 廃石膏ボード	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 紙くず	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 木くず（伐採木は除く）	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 その他の分別された廃棄物	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設廃棄物 混合廃棄物（分別困難な廃棄物）	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン			
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設発生土 第一種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km		地山m³	地山m³		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m³	地山m³	地山m³	%
建設発生土 第二種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km		地山m³	地山m³		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m³	地山m³	地山m³	%
建設発生土 第三種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km		地山m³	地山m³		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m³	地山m³	地山m³	%
建設発生土 第四種建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km					
							搬出先2	公共 民間				km					
建設発生土 泥土状の建設発生土	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km					
							搬出先2	公共 民間				km					
建設発生土 混合土（砂質土は除く）	地山m³		地山m³	地山m³			搬出先1	公共 民間				km					
							搬出先2	公共 民間				km					
合計	地山m³		地山m³	地山m³										地山m³	地山m³	地山m³	%

見本

現場内利用について記入

搬出先が最終になってないか注意
（産業廃棄物は原則中間処理）

搬出された建設発生土のその後の再利用の有無や搬出先での建設発生土の利用目的を確認した上で記入
※建設発生土の有効利用を適切に計上するため、安易に６、９、１０を選択しないこと。

コード※10
1. 路盤材　2. 裏込材
3. 埋戻し材
4. その他

コード※11
1. 焼却　2. 脱水
3. 天日乾燥
4. その他

コード※12
施工条件について
1. A指定処分
（発注時に指定されたもの）
2. B指定処分（もしくは準特定処分）
（発注時には指定されていないが、発注後に検討変更し指定処分とされたもの）
3. 自由処分

コード※13
【建設廃棄物の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場
3. 広域認定制度による処理
4. 中間処理施設（アスファルト合材プラント）
5. 中間処理施設（合材プラント以外の有資源化施設）
6. 中間処理施設（リ・マルリサイクル）
7. 中間処理施設（単純焼却）
8. 最終処分場（管理型処分場）
9. 最終処分場（内陸処分場）

【建設発生土の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場（内陸）
3. 他の工事現場（海面）
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4. 土質改良プラント
5. 土工事定地・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がある場合）
6. 二重手運搬・仮置場・ストックヤード
（再利用の目的がない場合）
7. 採石場・砂利採取跡地等埋戻事業
8. 廃棄物最終処分場（管理型）
9. 廃棄物最終処分場（管理型以外の受入）
10. 土捨場・残土処分場

※ 8. 9. 10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

注記）
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

(4) チェックリストの記載内容

「チェックリスト」には、次の内容・項目が記載されています。

表 1-1　チェックリストの記載内容

区分	項目名		補足説明
全般	発注機関名		
	システムの種類		COBRIS 版 CREDAS
	チェックリスト作成年月日		
	チェックリスト作成時の検索条件		
工事情報	工事 ID		
	調査区分		計画、実施
	工事名称		
	発注担当者名		
	工事種別		
	請負金額		
	工期		
チェック情報	エラー発生箇所	様式	工事概要、様式 1（建設資材利用）、様式 2（建設副産物搬出）
		品目名	
		段	
		項目名	
		入力値	エラー発生箇所の入力されている値
	チェック内容	エラー内容	「必須エラー」の場合、番号の左に「※」を付与
		エラー内容コメント	

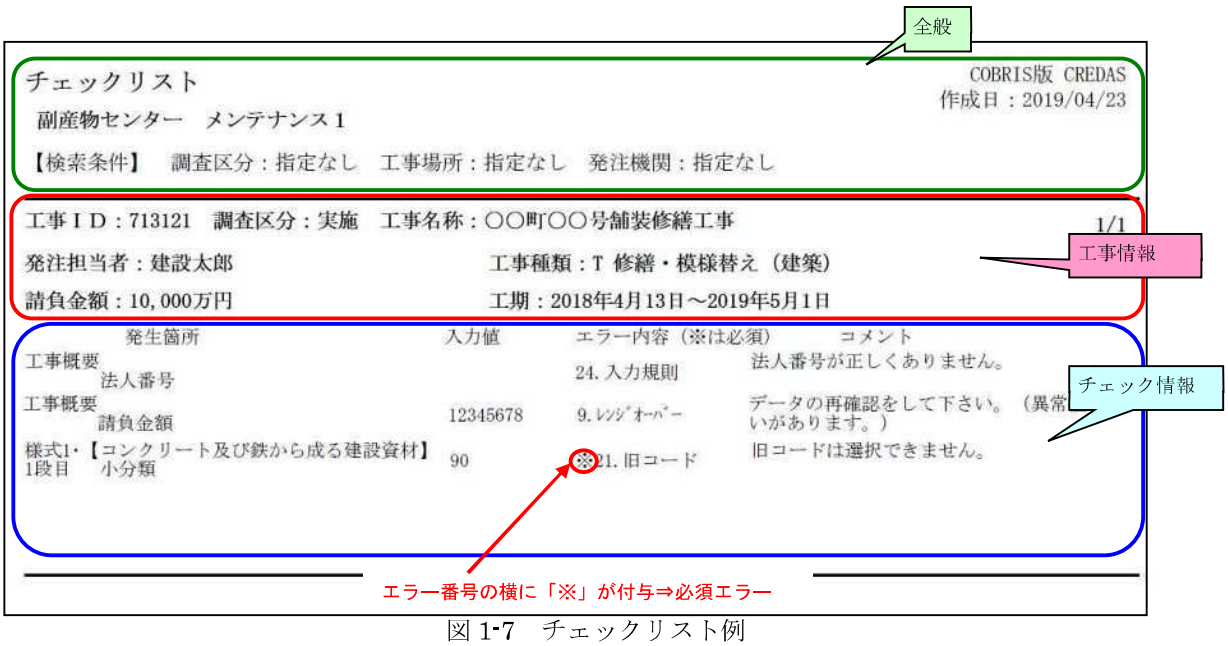


図 1-7　チェックリスト例